



あさくら

市議会だより

令和5年

11.1

No.71

P2 令和4年度決算

P8 委員会審査

P10 一般質問

P20 あの質問どげんなった？





令和4年度 朝倉市会計別決算

区分		歳入	歳出
一般会計		386億5,287万円	373億1,234万円
特別会計	住宅新築資金等貸付	727万円	727万円
	国民健康保険 (事業勘定)	70億5,258万円	69億9,891万円
	国民健康保険 (直営診療施設勘定)	2億8,026万円	2億5,702万円
	後期高齢者医療	10億1,720万円	9億8,561万円
	介護保険	60億9,287万円	58億8,295万円
	工業用地造成事業	40万円	40万円
小計		144億5,061万円	141億3,218万円
企業会計	工業用水道事業	1億6,631万円	1億5,980万円
	水道事業	8億1,869万円	9億1,945万円
	簡易水道事業	692万円	681万円
	下水道事業	37億762万円	40億8,026万円
小計		46億9,955万円	51億6,632万円
合計		578億304万円	566億1,085万円

※1万円未満切り捨てのため、計が一致していません

【令和4年度普通会計歳入歳出決算の主な財政指標】

区分	令和4年度	令和3年度
歳入総額	386億6,000万円	424億2,007万円
歳出総額	373億1,946万円	407億784万円
経常収支比率	92.2%	86.3%
実質公債費比率	8.6%	9.2%
財政力指数	0.51	0.52
基金現在高	184億9,241万円	185億5,540万円
地方債現在高	287億4,563万円	307億9,416万円

災害復旧から地方創生・人口減少対策へ

令和4年度決算 需要が変化しても持続可能な財政運営を

令和4年度普通会計決算は、歳入386億6000万円、歳出373億1946万円です。新庁舎建設事業が動き出したさなか、令和5年7月に再び豪雨災害に見舞われました。が、ふるさと応援寄附金の増額や過去の繰上償還の影響による公債費の減等により、騰や新たな課題への対応が求められる、選択と集中による財政運営が必要とされます。実質単年度収支は15億2207万円の赤字

委員が特に着目した事業は3ページ



4日間にわたる審査が行われました



★経常収支比率

毎年連続して入ってお金のうち、使い道を指定されずに使えるお金を、継続して固定的に支出している経費にどの程度充てているかを示す比率。

この比率が低いほど、使い道を指定されずに使えるお金の割合が大きいうことになる。

★実質公債費比率

財政規模に占める単年度の借金返済の割合を示す比率。

★財政力指数

地方公共団体の財政力を示す数値。この指数が1.00を超える団体は、財源に余裕があることになり、普通交付税の不交付団体となる。

第2次朝倉市総合計画の基本目標等に沿った 令和4年度決算 注目事業

議員が注目した決算を紹介します。
(決算委員会の質疑は4、5ページ)

安全な地域づくり

安全安心 防災拠点施設整備事業 3億2,860万円

久喜宮小学校、志波小学校跡地に防災拠点施設、防災広場を整備しました。



透明性・効率性の高い持続可能な行財政運営

財政運営 ふるさと応援寄附金事業 15億7,730万円

応援寄附金（ふるさと納税）をされた方にお礼等を行いました。なお、ふるさと応援寄附金の収入は、29億2,847万円となりました。



笑顔があふれ、将来に夢や希望をもち飛躍できる子どもの育成

子育て 出産・子育て応援 交付金事業 2,340万円

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施しました。



誰もが健やかで、いきいきと暮らせる保健福祉の充実

保健福祉 高齢者の保健事業と介護予防 事業の一体的実施事業 410万円

高齢者の健康相談や保健指導を行いました。また、医療専門職が通いの場でフレイル^{*}チェックや個別相談を実施しました。

※健康な状態と要介護状態の中間の段階、「虚弱状態」



教育 不登校復帰支援員 配置事業 400万円

不登校防止のための指導や不登校復帰支援に取り組みました。



豊かな地域資源を活かした産業・観光の振興

農業 有害鳥獣駆除委託 490万円

有害鳥獣の駆除を行い、農作物への被害防止・軽減を行いました。



教員の働き方改革につながるか

——中学校部活動支援事業

Q 部活動指導員の増員について。また、教員の業務軽減につながっているのか。

A 部活動指導員が担当している時間は、教員は授業に関する業務を行うことができるため、働き方改革に繋がっている。今後、部活動指導員の増員をしていきたい。



持続可能な指導を

英語教育を教育の目玉事業に

——ALT活用事業

Q 英語教育を市の教育の目玉にすべきと考えるが、ALTは足りているのか。将来的な展望を踏まえ、配置人数の増員についてどう考えているか。

A 令和5年度は、中学校に3人配置となっている。1人でも多く、また小学校にも配置したいが現状は難しい。今後、段階的に検討していきたい。

※外国語指導助手



会話が育てる英語力

令和4年度 一般会計



令和4年度の一般会計決算について「決算審査特別委員会」の中で行われた質疑と答弁を抜粋して紹介します。

杷木地域の小学校跡地活用の進捗状況

——防災拠点施設整備事業

Q 跡地活用の進捗状況は。

A 進捗状況は以下のとおり。

【松 末】令和6年度に既存校舎を活用したコミュニティセンターとして整備完了予定。

【杷 木】校舎跡地に市営住宅を整備済。運動場部分を防災広場として令和5年度に整備完了予定。

【久喜宮】防災拠点施設・防災広場・分譲地として令和4年度に事業完了。

【志 波】校舎の一部を改修し、防災拠点施設を整備済。令和6年度に向け、防災広場の整備と合わせ、運動場の宅地分譲を進める。



整備された久喜宮地域防災拠点施設

水道設備の更新について

——水道事業

Q 今後、人口減少による水道の利用者が減少することで、使用料収入も減少すると考えられる。施設の老朽化による更新費用の確保のため、水道使用料の改定についての考えは。

A 現在の料金収入では、施設更新の財源は不足している。有識者を含めた経営審査会を発足し、料金改定の検討をする必要がある。



安心・安全、そして安定が求められる水道

市を挙げての有害鳥獣対策を

——有害鳥獣駆除事業

Q 中山間地域のイノシシやシカに限らず、市街地におけるアライグマ等の小動物も問題となっている。猟友会員の高齢化も進んでおり、市を挙げての対策が必要ではないか。

A 狩猟免許試験の予備講習会受講料の補助など、狩猟者の確保に努めている。鳥獣被害対策における先進地を調査するなど、対応を考えていきたい。



市街地での対策も求められている

素敵な出会いをバックアップ

——あさくら“縁”結び応援事業

Q 成婚まで至った件数は。

A 令和4年度では、会員同士での成婚が2組（4名）。会員でない方との成婚が3名。合計7名の会員が成婚に至った。



2人の出会いを応援します

賑わいを取り戻そう

——たかき清流館管理運営事業

Q たかき清流館の利用者が少ないのは、コロナ禍によるものだけなのか。

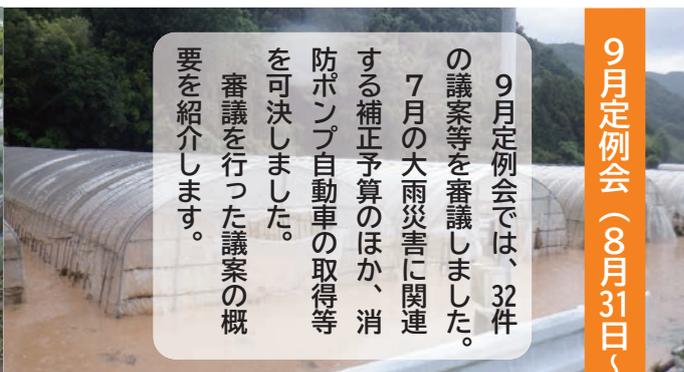
A 開館時期が、4月1日から10月20日と決まっているため、この時期に利用者がいなければ、冬季の利用者は見込めない。コロナ禍による影響のほか、山間部のため大雨などの天候にも影響を受ける。



たくさんの思い出作りの場に

9月定例会（8月31日～9月22日）

9月定例会では、32件の議案等を審議しました。7月の大雨災害に関連する補正予算のほか、消防ポンプ自動車の取得等を可決しました。審議を行った議案の概要を紹介します。



令和5年7月 大雨災害に関する補正予算額
 ・7月補正（専決） 21億3,034万円
 ・9月補正 8億9,765万円
 災害直後の7月では復旧に必要な予算、9月では農業支援等の補正予算となっています。

あさくら旅行支援事業 1,780万円

宿泊・日帰り割引クーポン券、タクシー・買物共通クーポン券を額面の半額で販売し、市内の宿泊施設等を利用していただくことで、令和5年7月の豪雨災害の風評被害を払拭し、原鶴温泉をはじめ市内宿泊施設や朝倉市の元気を域外にアピールします。

詳しくは商工観光課、0946-52-1428（直通）まで



市営住宅鳩胸団地建替建築主体工事 6億3,085万円

鉄筋コンクリート造4階建の建物、1階から4階まで各階10戸（3DK：2戸、2DK：6戸、1LDK：2戸）、合計40戸となります。

令和6年12月に入居予定です。



建て替わる市営住宅鳩胸団地

消防ポンプ自動車の取得 9,083万円

第5分団（朝倉）・第6分団（宮野）・第17分団（安川）・第19分団（上秋月）の消防ポンプ自動車を更新し、火災や災害等における消防団活動を支えます。



※写真はイメージです。

交通公園条例の一部改正

交通公園は二輪車専用ですが、特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）を除外するものです。



私立保育所等への支援事業 2,364万円

物価高騰が続くなか、高圧電力を使用する私立保育園や認定こども園について、電気料金の一部を補助します。



その他の9月補正予算

一般会計

甘木鉄道(株)への沿線自治体による支援事業費	177万円
路線バス・コミュニティバス事業者への支援事業費	263万円
介護サービス事業所への支援事業費	484万円
畜産経営緊急支援事業費	2,260万円
被災した農家等に対して経営継続を支援するための経費	3億6,610万円
浸水対策検討事業費	2,640万円
長谷山地区急傾斜対策事業費	1,420万円
災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費	2,100万円
農地、農業用施設災害復旧事業費	6,000万円

※ 9月補正予算の一部を抜粋しています。

※ この他に、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正を行いました。

その他の7月補正予算 ※専決

一般会計

避難所経費や住宅の応急修理などの災害救助費	6,189万円
朝倉市災害見舞金	1,000万円
災害援護資金貸付金	2,000万円
志波地区防災拠点施設法面復旧工事費	2,200万円
道路橋りょう災害復旧事業費	6億4,000万円
堆積土砂排除事業費	4億円
河川災害復旧事業費	3億3,200万円
農地、農業用施設、林道災害復旧事業費	4億3,000万円
公営住宅災害復旧事業費	5,614万円

※ 7月補正予算の一部を抜粋しています。

常任委員会では、議案の詳細な審査と本会議への審査結果報告を行います。ここではその一部を紹介します。

総務文教常任委員会

魅力を強化 文化と観光の連携は

✓ 教育に関する事務の管理、執行状況の点検・評価について

Q 不登校児童生徒への対応は。

A 市では不登校復帰支援員を採用し、家庭訪問や保護者の教育相談をサポートしている。令和5年度は立石小、甘木小および甘木中に各1名配置している。

Q 不登校復帰支援員の増員は考えていないか。

A 支援の効果がでていと捉えており、できれば増員していきたいと考えている。また、家庭と関係機関を繋ぐスクールソーシャルワーカーについても拡充していきたい。

Q 体力テストは高齢者も含め自分の体力を把握するのに役立つ。知られていないのはもったいない。

A 情報発信を強化していく。

Q 秋月博物館の公開承認施設

認定への進捗状況は。

A 承認に向けて、経験・スキルの上を目指している。

※文化庁長官の承認により、企画展における重要文化財等の公開手続きを簡素化することができ施設

Q 文化財を生かした観光振興の在り方を柔軟に考え、取り組むべきでは。

A 今年、秋月藩成立400年記念事業として、文化面と観光面でこれまで以上に連携して取り組んでいる。今後も連携を強化していきたい。

✓ 消防ポンプ自動車購入

Q 車両の耐用年数は。

A ポンプ車で20年である。



火災時に活躍

環境民生常任委員会

増加する医療費 健診の活用を

✓ 国民健康保険特別会計

Q 一人当たりの医療費が47万7769円と、昨年度より増加している。新型コロナウイルス感染症関連以外に、どのような増加要因が考えられるか。

A 癌に伴う外来受診の割合が増えている。高齢化の進展や医療の高度化が進み、費用が増加していると考えられる。

早期発見・早期治療のため、健診の推進やジェネリック医薬品の推奨など、医療費適正化に向けた取組を行っている。

Q 特定健診の受診者が増えている。どのような取組を行ったのか。

A 電話による受診勧奨や、前年度に特定健診を受診した方は健診費用を無料にするなど、受診率向上への取組を行っている。

Q 特定健診や保健指導による効果は出ているのか。

A 糖尿病が重症化することで腎不全となり、人工透析が必要な状況になってしまふ。これまでの健診や保健指導の取組に加え、糖尿病の優れた治療薬の開発もあり、人工透析者の患者数が、減少しはじめている。

この傾向については、注視していく必要がある。



特別な財産「健康」



建設経済常任委員会

旅行支援の活用 あさくらを元気に

朝倉への旅行者に対する支援

Q クーポン券の購入対象者に

居住地制限がないが、販売方法が窓口で先着順となつている。遠方の方は購入がしづらいのでは。

A 市外県外の方にたくさん来ていただくことを目的としている。販売方法については、温泉旅館協同組合と協議をしていきたい。

市営住宅鳩胸団地工事 請負契約の締結

鳩胸団地建築主体工事について、指名入札により、工事請負人が決定し、令和6年11月までの一期建築工事がスタートする。

工事概要は、鉄筋コンクリート4階建てで、各階10戸、計40戸の入居が可能となり、内訳は、2DKが24戸、1DKが8戸、3DKが8戸となっており、令和6年12月の新住

棟入居を予定している。

市道の廃止及び認定

Q 東林田地区の赤谷川災害復旧工事の完成に併せて、付替えられた市道7路線の認定に伴い、付替え以前の市道が認定から外される事はないか。

A 沿線土地情勢の変化により新たな市道の付替えが行われたが、以前に市道として認定され、現在も機能している箇所は、廃止対象としていない。



市道の現場確認

議会運営委員会

行政視察

【岡山県笠岡市】
議会基本条例の検証について

議会運営委員会では、7月25日・26日の日程で、行政視察を行いました。

笠岡市議会では、平成22年の議会基本条例調査研究会議を立ち上げ以降、特別委員会を設置し、議員任期1期につき1回の検証を行っています。

特別委員会では、実のある会議にするため、各会派ごとに次回委員会の5日前までに文書にて意見提出することを義務付けられ、提出なき場合は委員会での発言を禁止するという措置を取っています。

そこから、委員会での協議が活発になり、さらには会議時間の短縮にも繋がる効果が表れたとのこと。

朝倉市議会では、まだ検証に未着手であり、条例上、議会基本条例の検証は必ずやらなくてはならない状況であり、

「自分たちは、ちゃんと活動できているか」「どうすれば基本条例の目的を実現できるか」等を考えながら、まずはがむしゃらに取り組むことが大事、とのアドバイスをいただきました。

今回の行政視察を終えて、朝倉市議会においても、議会改革推進委員会を立ち上げ、議会基本条例の検証に取り組む予定です。

※ほかに、広島県三原市（オンラインを活用した議会運営について）を視察しました。



岡山県笠岡市

一般質問者11人

復旧・復興から発展へ 活力ある朝倉市を創るために

傍聴者190人



「マイナビ ツール・ド・九州2023」で
市内を走り抜ける選手たち

一般質問は、市の課題や方針等について、議員自身の意見も交えながら市に考えを聞くものです。

スマホやパソコンから



朝倉市議会 議会中継

検索

議会中継のページでは、生中継のほか、見たい会議や議員名を選んで録画映像を視聴できます。



しい せいじ 議員

質問項目

- ① 原鶴地域の浸水対策について
 - ② 宿泊税を原資とする「観光振興交付金」の取扱いについて
 - ③ 地域環境整備事業について
 - ④ 筑後川の鵜飼の存続について
- (全部7項目・一部を掲載しています)

Q 原鶴地域の浸水対策は
A 市として全力で取り組んでいく



動画はこちら

Q 原鶴地域の大雨時の浸水対策についての市長の考えは。

A 早急に専門的な調査を行い、具体的な形として全力で取り組んでいく。

Q 宿泊税を活用した事業の構築を

A 宿泊費の助成やPR事業により、7月の豪雨災害による風評被害の払拭に努めたい。また、原鶴温泉旅館協同組合とも協議を行っている。

Q 地域環境整備事業について、弾力的な運用ができないか。

A 予算配分については、過疎化など各地域の状況を見ながら研究していく。

Q 余った予算については、令和5年度から甘木・朝倉・杷木地域内での再配分を可能としている。市内全体での再配分については、検証が必要である。

Q 鵜飼の継承について

A 原鶴の鵜飼は、朝倉市が誇る観光資源であるが、自然災害やコロナ禍により、不安定な営業となっている。存続や継承の観点から、今後も

支援を行っていく。

また、全国鵜飼サミットに参加し、継承問題を含む様々な問題や解決策について、全国の関係者と情報共有を行う。



大雨時の原鶴
雨水調整池の状況

防災・減災と農業問題を問う



動画はこちら



なかやま ゆたか 議員
仲山 寛

質問項目

- ① 自然災害対策について
- ② 朝倉市の農林行政施策について
- ③ ダム群連携事業について

Q 豪雨災害において、濁流の水の抵抗に対する補強設計を再度検証する必要があるのではないかと。
A 被災原因の把握・除去を念頭に置いた、壊れにくい河川護岸の復旧を、国・県に強く要望していく。

Q 平野部の減災対策として、田んぼダムを実施できないか。

A 持続可能な取組となるよう、田んぼダムの仕組みや助成制度などに関する周知を行っていく。

Q 肥料・農薬等の価格高騰対策について、現在の状況は。

A 肥料高騰緊急対策事業を活用し、生産農家の支援に取り組んでいる。また、地域由来の資源を活用した肥料の利用拡大を図っていく。

Q 農業の将来を考える農業経営基盤強化促進法はどう進めるのか。

A 関係機関と連携し、地域の意見が十分に反映され、実情に応じた計画策定となるよう取り組んでいる。

Q ダム群連携事業の現況は。

A 水資源機構が事業予定のコミュニティに対し、事業概要・調査内容の説明を行い、環境への影響、施設設計のための調査を実施している。



農業の多面的機能を見直そう

避難所の在り方はこれでいいのか



動画はこちら



ひの やすのぶ 議員
日野 泰信

質問項目

- ① 避難所について
- ② 防火水槽について
- ③ 市道の整備について

Q 7月大雨の自主避難所開設数と避難者数を問う。また、自主避難所と市の連携が必要ではないのか。

A 各コミュニティなどで施設を開放したことは承知しているが、自主避難所には市の職員が常駐していないため、数を把握できていない。自主避難所からの要望などは、必要な対応をとっていききたい。

Q ペット同伴避難所を、今後は開設する必要があるのではないかと。

A 現在、朝倉支所にペットの避難スペースを設けている。今後、動物愛護団体などと連携して、前向きに

検討していく。飼い主への周知方法も考えていく。

Q 古い防火水槽は、新しく作りかえるのか。原鶴の防火水槽は、いつ設置できるのか。

A 新規設置については、地元からの要望に基づき、設置場所などを協議していく。原鶴公民館の防火水槽は、令和5年度に設置する。

Q 杷木志波中町・下町間の市道の補修は、いつになるのか。

A 国道386号本陣橋交差点の改良工事後に、当該市道の全体的な舗装補修を計画したい。



環境省や福岡県の同行避難周知チラシ。朝倉市は未作成。

Q 災害に強いまちづくりについて
A いろいろな工夫を進める



とくなが ひでとし 議員 徳永 秀俊

質問項目

- ① 大規模災害に対して強靱なまちづくり
- ② シティプロモーション事業について
- ③ 耕作放棄地の有効利用について

Q 災害時、市役所に電話がすぐ繋がる必要性を感じるが、如何か。
A 他の部署で受理するなど、電話が繋がる工夫を行っていく。

Q 過去、停電により避難所のトイレが使用できなかった。対応は。
A 発電機や仮設トイレなど迅速な対応がとれるよう、災害協定相手方との連絡調整、応援・受援体制などを強化して備えている。

Q 側溝の土砂撤去など、宅地外でも災害ボランティアの支援を受けることができるか。



動画はこちら

A 社会福祉協議会や災害ボランティア団体との情報共有会議において、検討していく。

Q ペット同伴できる避難所の複数開設ができないか。

A 物理的に困難な状況であるが、検討している段階である。

Q シティプロモーション事業において、具体的な計画があるのか。

A 移住定住交流センターを建設し、令和6年3月竣工予定。移住相談窓口の充実、支援体制の強化、魅力発信などを行う拠点にする。

Q 耕作放棄地の有機農法への利用はできないか。

A 荒れた農地の整備、周辺の耕作者への理解など、解決すべき課題がある。



朝倉市移住定住交流センター「コンネアサクラ」完成イメージ図

Q 道づくりと、まちづくりについて
A 道路整備と地域づくりは密接関係



しばやま きょうこ 議員 柴山 恭子

質問項目

- ① まちづくりとみちづくりについて
- ② 防災について
- ③ 不燃物の回収について

Q 386号が4車線道路であれば、歩道や水路の整備も終わり、交通渋滞や事故を防ぎ、福岡までの動脈としてまちづくりに力を入れることができたのでは。

A 道路整備の幅員等の検討は、1日当たりの交通量、まちづくりの考え方、実現性など、総合的に勘案し整備を進めていく。

Q 八女の道づくりはすごい。今までと逆方向にインターから降りてバイパスに接続したことで、大きく商業地として発展を続けている。一方で、朝倉市の386号バイパス周辺



動画はこちら

は、住宅地・商業地として発展も見られない。
A 八女では道路の両端に事業所が建ち並び、活力が生まれている。しかし、386号バイパス沿線は農業振興地域であり、土地利用が進まないことが、八女と違った形態になっている。

Q 高齢者や障がいなどの理由で、自分でゴミを集積所に持って行くことができない方への対策は。

A シルバー人材センターのワンコインサービスもあるが、高齢化が進むなか、可燃・不燃ゴミについて、今後どうすべきかを考えていきたい。



386号活性化に向けて一步を

【一般質問】



きたがわ きよひこ 議員
北川 清文

Q 安全・安心でできる環境づくりを
A 強い地域づくりを推進していく



動画はこちら

質問項目

- ① 災害に対する検証と対策
- ② 寺内ダムの役割と洪水調節による治水効果について
- ③ 学校現場における子ども達の教育環境について

Q 平成29年災害による復旧工事を行った河川護岸で、再び被災した箇所がある。工事方法や復旧の考え方は。

A 市管理河川については、原形復旧になると想定される。被災原因の除去を念頭に、河床勾配の緩和や強靱化等、壊れにくい河川護岸の復旧が行えるよう、国や福岡県に対し求めていきたい。

福岡県が原形復旧した被災河川についても、改良的要素を取り入れた対応を、強く働きかけている。



再び被害を受けた河川護岸

Q 寺内ダムの役割は何か。

A 筑後川や佐田川の洪水被害軽減、筑後川の流水の正常な機能の維持、両筑平野の農業用水の補給、水道水の確保を目的とする多目的ダムである。出水期においては、ダムの洪水調節により、生命や財産を守る重要な役割を果たしている。

Q 寺内ダムの緊急放流の通知が1時間前だった経緯は。

A 線状降水帯の発生により、短時間で想定をはるかに超える流入となったことによるもの。

Q 改良復旧を国に働きかけを
A 現実には厳しいので復旧に全力をあげる



動画はこちら



いいた さなえ 議員
飯田 早苗

質問項目

- ① 7月7日からの豪雨災害の状況と今後の課題について

Q 前日から大雨等の発表があったが、夜中の避難指示発令の経緯は。

A 夜中に天候が急変した為、明るい時間帯の発信を心掛けている。

Q 一時避難時にも、避難所の物資に液体ミルクを配備してはどうか。

A 今後は、主要3施設(甘木・朝倉・杷木)での分散配置で対応する。

Q 寒水川の被害が大きい。工事のペースを速め、国へ改良復旧の要請が必要では。

A 市の河川ではあるが、県の砂防事業として進められている。今回の被害状況を検証し、県に見直しを要

望している。

Q 乙石川上流で、農地改良復旧後の区画整理エリア被害の原因は。

A 未整備の谷や山林の法面など、複数個所で大規模な崩壊がある。砂防や治山事業が未整備だった事が一因。林野庁や県に強く要望していく。

Q 農地被災は1116件。早期営農再開のため、農業ボランティアセンターの立ち上げが有効ではないか。

A 関係団体・機関への働きかけも含め、組織横断的な協議・体制・仕組み作りを今後努める。



堆積土砂による果樹林の被害

Q 朝倉市の未来を市長はいかに考えるか
A 市民が将来に希望が持てる朝倉を作りた



動画はこちら



さねふじ てる お 議員
藤 輝夫

質問項目

- ① ふるさと納税と財政の見直し
(行政課題への活用)
- ② 秋月藩成立400年記念事業
(市内外への取組)
- ③ 現庁舎移転後の活用について

Q 令和4年度のふるさと寄附金(納税)は、29億2800万円。そのうち、13億5100万円が基金に組み入れられた。これらを財源とし、当面する行政課題を解決し、朝倉市の未来の計画を練ることは出来ないか。

A 29年災害や地方創生、移住定住センター建設に活用している。ご意見を頂き、しっかりと受け止めたい。

Q 秋月藩成立400年記念事業が、行政とそれに関係する人たちだけのイベントになっている。市民挙げて

の事業にする為に、各地区のコミュニティ等を通じて、市民全体の事業としてやっていくべきではないか。

A ご提案の各地域に向いて、実際に足を運び、その地域の歴史について講演や勉強会が出来るように、教育委員会として考えている。兜のレプリカの紹介などのご意見も、参考にさせて頂く。

Q 現市庁舎移転後は、①解体後、更地にする。②解体後、新たな計画をする。③解体せず補修し、丸山公園と一体的に活用する。③が妥当と考えるが、市長の見解は如何に。

A 庁舎整備検討委員会を設置し、検討している。市民からも認めて頂けるような有効活用が出来る事を目指し、しっかりと検討していく。



黒田長政公より拝領
秋月藩初代藩主
黒田長興公着用の
「銀箔押蛤脇立突盛形兜」
(朝倉市秋月博物館蔵)

Q 筑後川の水位を下げる対策は
A 浚渫の促進を国に求めていく



動画はこちら



かとう しょうじ 議員
加藤 正二

質問項目

- ① 蟻城地区の豪雨対策について

Q 豪雨時には、桂川の水が堤防を越水して床島用水に流入している。堤防への流入口の設置について、関係機関との協議は。

A 桂川の堤防高上げと改良復旧がほぼ完成している。福岡県の効果検証を待つて、流域治水の枠組みで関係機関との協議を検討していく。

Q 長田川の内水対策について、福岡県土整備部・農林水産部・朝倉市などが連携した協議の経過及び進捗状況はどうなっているのか。

A 筑後川河川事務所を含め勉強会を開催したが、7月10日の豪雨により中断している。
引き続き関係機関と連携し、流域

治水の枠組みにおいて、長田川に注目した軽減対策を強く求めていく。

Q 筑後川の水位を下げる対策は。

A 上流域での洪水抑制への働きかけを行っていききたい。また、堆積した土砂についても、引き続き浚渫の促進を国に求めていく。

Q 佐田川河川整備計画が進めば、住民の安心感が増す。河川計画の進捗状況は。

A 今年度は、地形把握のためドローンを利用した測量や河川内での測量など、工着手に向けた調査・設計が行われると聞いている。



床島用水に流れ込む桂川の大量の水

Q 始業式までの準備期間を4日間に
A 教育委員会で検討していく



おほきこ 大庭 議員

質問項目

- ① 教育環境の充実について
- ② 災害対応について
- ③ 会計年度任用職員について

Q 小中学校の始業式準備が3日間であり、児童生徒の受け入れ準備に十分な時間が取れていない。新年度は異動もあり、職員会議や連絡会議等、大変繁忙である。4日間の準備期間を確保出来ないか。

A 課題として認識している。授業時数の確保のために、始業式を遅らせれば夏休み等の短縮など、慎重な対応が必要になる。

Q 予備時数は20時間程度あり、中央教育審議会（中教審）では年間の授業時数を見直す提言も出ている。授業時数が足りない、という心配は

要らないと考える。

A 中教審の緊急提言を受け、今後、教育委員会でも検討していきたい。

Q 市役所では、320名(37.7%)の会計年度任用職員が市政運営や住民サービスを支え、必要不可欠である。コロナ禍や災害時には、市民を守るために重要な役割を担っている。優秀な人材を確保する為にも、安心して働ける処遇改善について、どのように考えているか。

A 会計年度任用職員によって、一定の行政サービスが保たれている事は十分認識している。国の非常勤職員の制度、近隣各市の制度、運用等を注視し、調査分析を行い適正な任用、配置、処遇に努めていきたい。



動画はこちら



始業式の準備には時間とゆとりが必要

Q ふるさと納税17万件を活かせ
A 現実には買い物の色合いが強い



なかしま ひでき 中島 議員

質問項目

- ① 朝倉市が発展するために何をしたらいいのか

Q 令和4年度ふるさと納税について、朝倉市の実績は。

A 件数は17万5000件、金額は29億2847万円である。

Q 寄附件数が17万5000件もある。ここに注目し、地域創生に活かすべきである。市内の知名度が低い商品を、新しく発掘できないか。

A 事業者と一緒に新しい物に加え、全国のファンを増やしたい。

Q お礼状や挨拶状を送るなど、寄附者との関係づくりをしているか。

A 寄附の際、「朝倉市の情報が欲しい」にチェックをした方に、メー

ルマガジンにて情報提供している。

Q 情報提供の数はどれくらいか。
A 大体1万件である。

Q 寄附件数に対して情報提供の件数が少ない。体験型返礼に注力して、関係人口を増やせないか。

A 現在、温泉宿泊券やゴルフプレー券などを提供している。実際に現地を訪れるため、宿泊や観光などに対する波及効果も大きい。

Q 30億円弱も集めた後は、ふるさと納税を更に進化させて、朝倉市のふるさと創生に活かせないか。

A 現実には買い物の色合いが強い。10月より制度が若干変わるのので、寄附額と返礼費用の様子を見たい。



交流人口を増やしたい



動画はこちら

請願書・意見書

令和5年第4回定例会で次の請願書を全会一致で採択し、関係機関に意見書を提出しました。

また、下記の意見書案を全会一致で可決し、関係機関に意見書を提出しました。

「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書

請願事項

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討するとともに、加配教員の増員など教職員定数改善を推進すること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

請願趣旨

学校現場では、貧困・いじめ・不登校、教職員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積

している。

ゆたかな子どもの学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善が不可欠である。

また、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題であり、国の施策として定数改善に向けた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられるための条件整備は不可欠である。

請願者

福岡県教職員組合朝倉支部

支部長 富安ひとみ

紹介議員

大庭 きみ子

地方財政の充実・強化を求める意見書

要旨 ※一部のみ記載

地方公共団体は、社会保障制度の整備や多発する大規模災害や物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められており、地方財政確立のため、2024年度政府予算に以下の事項を求める。

1. 増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。

2. 地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。

提出者 大庭 きみ子、飯田 早苗

人事案件

令和5年第4回定例会で、左記の方々の推薦に同意しました。

朝倉市人権擁護委員

久保山 憲二 氏（小田）

丸山 康晴 氏（三奈木）

養父 英輔 氏（杷木久喜宮）

櫻場 隆 氏（千手）



現地調査

豪雨災害現場を視察

8月1日から3日にかけて、市議会は建設経済・総務文教・環境民生常任委員会に分かれ、7月7日からの豪雨災害現場の現況を視察しました。

今回の豪雨災害では、幸いにも人的被害は無かったものの、平成29年九州北部豪雨災害で被災した宅地や復旧工事が完了した道路や河川、農地が再び被害を受けました。新たに被害を受けた箇所もあり、復旧には予算も時間も要する大変厳しい状況でした。

一方で、杷木松末地区に整備した「遊砂地」が大量の土砂を受け止め、田島地区に整備した「遊水地」が洪水調節機能を発揮するなど、防災・治水対策への取組が成果を出しています。

今回の豪雨災害を受け、復旧工事の在り方、堆積土砂の浚渫など多くの課題がありますが、市議会も復旧・復興に向けて、共に取り組んでまいります。



黒川（黒松）



三奈木（鬼ヶ城）



杷木寒水（寒水川）



稲城市議会（東京都）
「九州北部豪雨からの
その後について」

岐阜市議会（岐阜県）
「秋月城下町の観光施策及び
まちづくり施策について」



新上五島町議会（長崎県）
「議会におけるペーパーレス
会議システム（タブレット端末）
の導入について」

朝倉市の取組が、全国各地の議会から注目されています。

行政視察 全国から

9月定例会で審議した議案等の結果です			◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	議案の主な内容	
総務文教常任委員会			
第76号議案	朝倉市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	条例中に引用する法律の条項を変更し、手当の名称を変更するもの	◎可決
第78号議案	朝倉市交通公園条例の一部を改正する条例の制定について	【改正内容】 現行：大型自動二輪車、普通自動二輪車及び原動機付自転車 改正後：大型自動二輪車、普通自動二輪車及び一般原動機付自転車 ※ 特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）を除外	◎可決
第80号議案	工事請負契約の締結について（立石小学校）	工事箇所：朝倉市頓田380番地1 工事概要：特別教室棟 鉄筋コンクリート造2階建 延べ床面積 1,485.71平方メートル 普通教室棟 鉄筋コンクリート造2階建 延べ床面積 397.98平方メートル エレベーター棟 耐火鉄骨造3階建 延べ床面積 105.30平方メートル 請負契約額：8億1,125万円 工事請負人：梶原・柿原特定建設工事共同企業体	◎可決
第81号議案	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	取得する財産：消防ポンプ自動車 4台 取得価格：9,083万9,840円 契約の相手方：株式会社倉重ポンプ商会	◎可決
第82号議案	財産の取得について（統合仮想化基盤機器等）	取得する財産：統合仮想化基盤機器等 取得価格：1億2,945万3,500円 契約の相手方：富士通Japan株式会社 九州北部公共ビジネス部	◎可決
5請願第1号	「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書		◎採択
環境民生常任委員会			
第62号議案	令和4年度朝倉市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第63号議案	令和4年度朝倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第64号議案	令和4年度朝倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第65号議案	令和4年度朝倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第72号議案	令和5年度朝倉市介護保険特別会計補正予算（第1号）について		◎可決
第75号議案	朝倉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	外国人に対する生活保護の措置に関する事務を加えるもの	◎可決
第77号議案	朝倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	条例中に引用する法律の条項の繰り上げを行うもの	◎可決
建設経済常任委員会			
第66号議案	令和4年度朝倉市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について		◎認定
第67号議案	令和4年度朝倉市工業用水道事業の利益の処分及び決算の認定について		◎可決及び認定
第68号議案	令和4年度朝倉市水道事業の利益の処分及び決算の認定について		◎可決及び認定
第69号議案	令和4年度朝倉市簡易水道事業の利益の処分及び決算の認定について		◎可決及び認定
第70号議案	令和4年度朝倉市下水道事業の利益の処分及び決算の認定について		◎可決及び認定
第73号議案	令和5年度朝倉市水道事業会計補正予算（第1号）について		◎可決
第74号議案	令和5年度朝倉市下水道事業会計補正予算（第1号）について		◎可決

9月定例会で審議した議案等の結果です			◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	議案の主な内容	
建設経済常任委員会			
第79号議案	工事請負契約の締結について (市営住宅鳩胸団地)	工事箇所：朝倉市小田1175番地1 工事概要：鉄筋コンクリート造4階建 延べ床面積 2,007.93平方メートル 請負契約額：6億3,085万円 工事請負人：環境施設・古賀組特定建設工事共同企業体	◎可決
第83号議案	市道路線の廃止について	たのもがわ かわぐち じょうぞの さこ たに はやしだ ふじ き 頼母川線、川口線、城園・迫の谷線、林田・藤の木線 かわぐち じょうぞの しおた しもくぼ ひらた しみずがもと 川口・城園線、塩田・下久保線、平田線、清水ヶ元線	◎可決
第84号議案	市道路線の認定について	しみずがもと ひらた かわぐち しゅくのはる かわぐち しみずがもと 清水ヶ元・平田線、川口・宿ノ原線、川口・清水ヶ元線 かわぐち ふじのき じょうぞの ふじのき なぎの しもくぼ 川口・藤ノ木線、城園線、藤ノ木・薙野線、下久保2号線	◎可決
その他			
報告第13号	専決処分の報告について（交通事故による損害賠償）		報告済
報告第14号	令和4年度朝倉市健全化判断比率等の報告について		報告済
報告第15号	令和4年度甘木鉄道株式会社の決算について		報告済
報告第16号	令和5年度甘木鉄道株式会社の事業計画について		報告済
第60号議案	専決処分について（令和5年度朝倉市一般会計補正予算（第4号））		◎承認
第61号議案	令和4年度朝倉市一般会計歳入歳出予算の認定について		◎認定
第71号議案	令和5年度朝倉市一般会計補正予算（第5号）について		◎可決
第85号議案～ 第88号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について		◎同意
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について		◎可決
意見書案第2号	「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」を求める意見書の提出について		◎可決

【朝倉市議会からのお知らせ】



議員と語りませんか

議会意見交換会

開かれた議会を目指して、市民の皆様方との意見交換会を開催します。お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

お問い合わせは市議会事務局まで。(☎ 22-1121)

令和6年2月2日(金) 19時から
◇ピーポート甘木 第4・第5学習室
◇らくゆう館 視聴覚室

いずれか、ご都合の良い会場にお越しください



あの質問 どげんだった?



- Q 令和5年は秋月藩成立400年を迎える。記念事業の計画は。(令和4年9月定例会)
- A 秋月博物館での企画展をはじめ、秋月を巡るフィールドワークなどの事業を考えている。



こげんりました

様々な記念事業が行われています。

- ・秋月博物館特別展「藩祖 黒田長興」
- ・城下町秋月謎解きゲーム
- ・宿泊コラボ
- ・AR秋月歴史ラリー など 詳細はこちら▶



議員の1枚

9月29日、杷木小学校2年生(35名)が、イチジク農家さんの協力で、ジャム作りを行いました。地域の特産物を知り、地域の方々との繋がりを大切にすることを目的とした取組で、これまで8年ほど続いています。

美味しいイチジクジャムができたようですね。

表紙によせて
版画家佐野至の作品。秋月藩に関連する兜も描かれています。

9月16日には、秋月藩成立400年記念事業として、秋月博物館広場で野点が開催されました。参加した莉子ちゃん(久留米市)は、上手にお茶を点てていました。

ただ、お饅頭のほうがおいしかったかな。



編集後記

今号では、決算の審査や事業の補正予算などを紹介しています。

難解な行政用語などを、どのように紙面でお伝えするか、広報委員一同、会議録を片手に四苦八苦しています。

これからも、市民の皆様にとって、より分かりやすい議会だよりづくりに努めてまいります。

広報委員会

- 委員長 熊本 正博
副委員長 徳永 秀俊
委員 渡辺 毅
委員 飯田 早苗
委員 石井 清治
委員 日野 泰信

次回定例会の予定

開会日	12月1日
一般質問	12月6日～8日
議案質疑	12月8日
常任委員会	12月11日～13日
閉会日	12月18日

※11月24日の議会運営委員会で変更になる場合があります。